

2021年9月27日

業界初、高齢者向け施設の「個浴」における 遠隔“見まもり”機能つき業務用給湯器「GQT-C2412AWZ」を発売

～IoT一元管理デバイスとも連携を進め、介護職員の負担も軽減～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ（本社：神戸市、代表取締役社長：腹巻知、資本金：201億円、東証一部上場）は、サービス付き高齢者住宅などの入居者が各部屋で入浴する「個浴」向けに、おふろの遠隔“見まもり”機能を搭載した業務用給湯器「GQT-C2412AWZ」を12月1日に発売します。“見まもり”機能を搭載した業務用給湯器は業界初となります。今後は、複数のセンサーにより居室内の状況を検知し居室全体の「見まもりシステム」を提供するヘルステック企業とも提携してサービスの拡充を図ります。なお、第1弾として(株)Z-Works（本社：東京都、代表取締役社長：高橋達也）と、22年春を目途にシステム連携開始を進めてまいります。



GQT-C2412AWZ

サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）をはじめとする高齢者住宅や介護施設では、入居者のプライバシーを守ることが重要である一方で、安否確認や体調確認を行うことが求められています。それに加え、コロナ禍によりこれまで以上に衛生管理などが求められ、職員の業務負担が増加しています。また、従来から「サ高住」の居室には見まもりサービスが導入されていましたが、浴室は温度や湿度が高く導入が困難でした。

当社では、2017年に業界で初めて家庭用給湯器に“見まもり機能”を搭載した実績をいかし、今回、業務用給湯器にも初めて遠隔での“見まもり機能”を実現しました。これにより、介護者の負担を削減しながら、安心・安全な入浴環境を提供します。

■入浴状況をアプリで見まもり



宅外からの見まもり※1機能の流れ

設定した入浴時間が経過すると、アプリにアラームで通知します。呼びかけ機能では、アプリ画面から「今すぐ呼びかけ」をタップすると、浴室リモコンから入浴者に『アプリから呼びかけがありました』と音声流れます。その後、入浴者が点滅している浴室リモコンのスイッチを押すと、アプリ画面に「応答がありました」と表示され、宅外からでも入浴者の状況を確認できます。

※1 給湯器・リモコン・浴室状況・通信状況などにより誤報や失報の可能性があります。安全な入浴をお約束するものではなく、あくまで補助機能です。

■ 価格・仕様

タイプ	商品名	予定希望小売価格(税別)
業務用ガスふろ給湯器	GQT-C2412AWZ	395,000 円
発売日	2021 年 12 月 1 日(水)	



※無線 LAN 対応リモコン RC-G001EW-2 マルチセット 46,800 円 (税別)

■株式会社 Z-Works について

代表者：小川誠、高橋達也 設立：2015 年 4 月

所在地：東京都新宿区下落合 4-21-19 目白 LK ビル 7F

事業内容：スマートホーム向けサービスを提供。IoT を駆使したセンサーネットを「介護」「ヘルスケア」へ応用したシステムの開発・販売を行う。

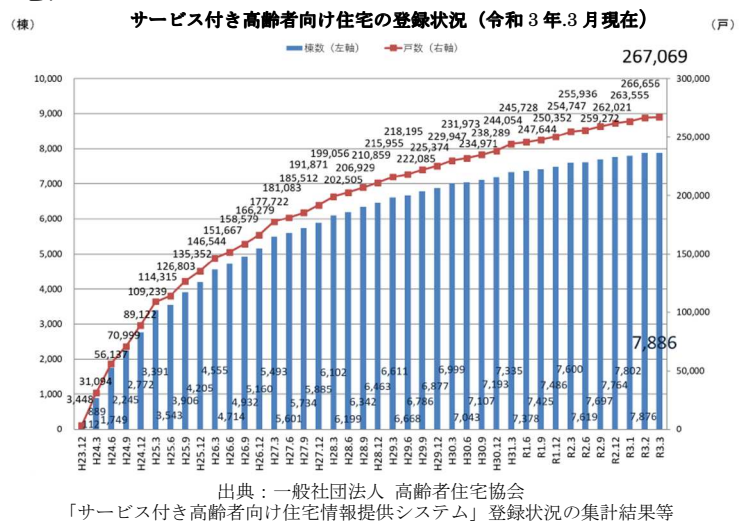
<https://www.z-works.co.jp>

【参考】

●高まる介護施設の需要と多様化するサービス

居住者の希望に応じて、必要なサービスを選択して受けることができる「サ高住」は、自宅同様の自由な生活を過ごせる場として、近年普及が進んでいます。また、介護施設や介護サービスの現場では、一人ひとりの個性や生活リズムを尊重する個別ケアが求められています。

入浴に関しても個人のプライバシーが守られるように配慮したサービスが増加しており、入浴介助が必要な方にも個室で対応する「個室」を備えた施設が多くなっています。



2021 年 3 月末で、サービス付き高齢者向け住宅の登録件数は 7,886 件 (267,069 戸)。棟数・戸数ともに年々増加しています。

※ニュースリリースに記載されている内容は、発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますので、ご了承ください。当資料はノーリツが神戸経済記者クラブで配布しています。